

## 情報通信技術委員会（TTC） 2019年度「TTC会長表彰」受賞

2019年6月18日に開催された情報通信技術委員会（TTC：The Telecommunication Technology Committee）による情報通信技術賞・TTC会長表彰式において、ネットワーク部 田村 基が、「移動通信網のネットワーク仮想化アーキテクチャの標準化及び実装推進にかかわる功績」によりTTC会長表彰を受賞しました。

TTCの活動は、情報通信ネットワークにかかわる標準の作成とその普及を図ることを目的としており、その目的に沿う事業の遂行に多大な貢献をした者に対して毎年表彰が行われています。本年度は、情報通信技術賞総務大臣表彰（2名）、情報通信技術賞TTC会長表彰（5名）、功労賞（19名）、感謝状（12名）が授与されました。

田村は第2世代から第5世代にわたる移動通信網のネットワークアーキテクチャ標準化に携わり、各世代における移動通信網技術の国際標準仕様策定に尽力、移動通信ネットワークの高度化推進に貢献しました。第2世代である国内標準のPDC方式から国

際標準準拠の第3世代システムへの転換期において、マルチメディア通信に適したATM Adaptation Layer Type2伝送方式、W-CDMAのダイバーシティハンドオーバー方式など他地域との協調を図りながら、日本の要求条件・技術を反映した国際標準化に貢献するとともに、2004年から4年間ITU-T SG19副議長としてBeyond IMT2000アーキテクチャ仕様の勧告化を主導、その後、新たなコミュニケーション手段であるRCSサービス（現、プラスメッセージ）、データ通信の急成長や多様な無線アクセスに対応したAll-IPネットワークアーキテクチャの標準仕様化に貢献しました。特に近年は、多様な5Gサービスに対応可能なネットワーク仮想化技術に尽力し、総務省から受託した、耐災害性に優れたネットワーク仮想化研究プロジェクト推進およびその標準化など、TTC/3GPPに加えETSIなど多様化する関連標準化団体と連携し、標準化および実装推進に貢献したことが認められ今回のTTC会長表彰受賞となりました。



受賞した田村 基（右）

